



温泉診断書

施設名 ■ ○○旅館

浴槽名 ■ 大浴場 男湯 内湯

温泉の利用方法

循環	有	大量の源泉を使用していますが浴槽が大きく温度差をなくす為
加温	有	温度管理の為
加水	無	
入浴剤及殺菌剤等	有	濾過器を通す為、0.2ppmの次亜塩素を入れて衛生的な温泉を維持しています。

源泉との比較評価

浴槽容量	◆ 15 トン	源泉注入量	◆ 毎時 1 トン	毎時換泉率	6 %	源泉率	100%
注湯温度	◆ 44 °C	注湯最大湯量	◆ 120 L/分	浴槽内の交換頻度	◆ 新湯都度張替		

◆調査日/平成18年2月14日 分析者：(財)岡山県健康づくり財団

源泉の温泉分析情報

源泉名	◆ 湯原温泉館下泉源	泉 温	◆ 45.5°C	湧出量	◆ 測定不能
知覚的試験	◆ 無色澄明、無味、無臭		ph値	◆ 9.3	
泉 質	◆ アルカリ性単純温泉 (低張性アルカリ性高温泉)				

試料1kg中の成分・分量及び組成

陽イオン				陰イオン			
成分	ミリグラム	ミリバル	ミリバル%	成分	ミリグラム	ミリバル	ミリバル%
ナトリウムイオン	45.0	1.96	91.59	フッ素イオン	1.0	0.05	2.49
カリウムイオン	0.8	0.02	0.93	塩素イオン	20.6	0.58	28.86
カルシウムイオン	3.2	0.16	7.48	硫酸イオン	8.4	0.18	8.96
マグネシウムイオン	< 0.1			炭酸水素イオン	56.1	0.92	45.77
				炭酸イオン	7.8	0.26	12.94
				硫化水素イオン	< 0.2		
				メタホウ酸イオン	0.2	0.00	0.00
				水酸イオン	0.3	0.02	1.00
陽イオン合計	49.0	2.14	100	陰イオン合計	94.4	2.01	100

遊離成分：メタケイ酸 ◆46.7ミリグラム (0.61ミリモル)、メタホウ酸 ◆0.0ミリグラム (0.00ミリモル)
 溶存物質 (ガス性のものを除く) ◆0.19g/kg
 その他 総水銀 ◆0.0005未満、カドミウム ◆0.02、総ヒ素 ◆0.008、亜鉛0.01未満、銅 ◆0.01
 マンガン ◆0.01未満、鉛 ◆0.01未満、総クロム ◆0.02未満、鉄 ◆0.05未満

◆浴用の禁忌症

急性疾患 (特に熱のある場合)、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患 (特に初期と末期)

◆浴用の適応性

神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、間接のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔症、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進。



温泉やご入浴についてご質問があれば温泉指南役にお尋ね下さい。

温泉指南役について/温泉指南役は、全般的な温泉知識と地域の温泉の特徴、温泉療法、気候療法、物理療法など各種療法や健康増進の為の知識、さらに万一の事故に備えた救急法、温泉郷の歴史や周辺観光地のガイドも出来る温泉プロフェッショナルとして認定する湯原温泉郷独自の資格保有者です。

